



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

東・名

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
 四半期報告書提出予定日 2019年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年3月21日～2019年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,609	3.3	797	△7.4	794	6.6	600	5.1
2019年3月期第1四半期	18,989	1.8	860	△1.7	744	7.7	571	20.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 264百万円(△73.0%) 2019年3月期第1四半期 980百万円(59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	143.44	—
2019年3月期第1四半期	163.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	82,758	27,558	29.7	5,871.10
2019年3月期	81,199	27,597	30.4	5,888.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 24,578百万円 2019年3月期 24,652百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 20円00銭(創業200年記念配当)

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日～2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	8.2	3,000	27.3	2,900	35.3	1,900	27.6	453.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,219,554株	2019年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	33,199株	2019年3月期	33,047株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,186,435株	2019年3月期1Q	3,496,698株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境及び個人所得の改善により個人消費が拡大傾向にあるなど緩やかな回復基調で推移しましたが、製造業を中心に景況感の悪化が見られました。先行きにつきましては、英国のEU離脱問題や米国の通商政策を発端とする貿易摩擦による海外経済の下振れリスクなど依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を初年度とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』をスタートさせました。この中期経営計画では、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、最終年度である2021年度に「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。

売上高につきましては、プラスチック容器関連のPETボトル用プリフォームが、堅調な需要を背景に出荷を伸ばしたことなどにより、グループ全体の売上高は19,609百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。利益につきましては、売上高は増加しましたが、原燃料価格や物流コストが上昇したことなどにより営業利益は797百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。一方、受取配当金は減少しましたが、為替差損や解約損が発生しなかったことなどにより、経常利益は794百万円(前年同四半期比6.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は600百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、リターナブルびんの受注が落ち込んだことに加え、食料・調味料びんの一部が他素材容器に移行したことなどにより出荷が伸び悩み、売上高は4,143百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、一般市場向けの販売は堅調に推移しましたが、業務用品や企業向け景品の受注が落ち込みました。陶磁器は、国内の百貨店及びホテル・レストラン向けの受注が減少したことなどにより、セグメント全体の売上高は3,814百万円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、主要ユーザーからの受注が増加したことに加え、原材料や物流コストの上昇に伴う価格改定もあり、売上高は1,904百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

プラスチック容器は、PETボトル用プリフォームが堅調な需要を背景に主要ユーザーからの受注が増加したことに加え、当期から本格的に生産を開始した新ラインが順調に稼働したことや、原材料価格の上昇に伴う価格改定もあり、売上高は8,422百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、IHクッキングヒーター用トッププレートの受注が減少したことにより、売上高は378百万円(前年同四半期比7.2%減)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、国内及び海外市場において販路を順調に拡大していますが、中国市場やOEM先への売上高が減少しました。金属キャップは医薬品向けの出荷が伸び悩んだこともあり、セグメント全体の売上高は946百万円(前年同四半期比13.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,558百万円増加し、82,758百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債合計は1,597百万円増加し、55,199百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金とその他(リース債務)が増加したことによるものです。

純資産合計は38百万円減少し、27,558百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加した一方、株価下落に伴うその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は29.7%(前連結会計年度末は30.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年4月24日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,538	3,074
受取手形及び売掛金	11,506	13,293
商品及び製品	11,608	11,853
仕掛品	745	742
原材料及び貯蔵品	4,562	4,442
その他	3,184	3,673
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	35,141	37,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,376	7,449
機械装置及び運搬具（純額）	6,753	6,423
土地	15,784	15,765
その他（純額）	6,787	7,114
有形固定資産合計	36,702	36,753
無形固定資産	176	184
投資その他の資産		
投資有価証券	7,445	6,953
その他	1,557	1,626
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	8,973	8,549
固定資産合計	45,852	45,487
繰延資産	205	195
資産合計	81,199	82,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,445	8,744
短期借入金	7,157	10,562
1年内償還予定の社債	739	692
未払法人税等	270	180
賞与引当金	698	430
その他	7,464	7,959
流動負債合計	23,776	28,571
固定負債		
社債	7,814	7,814
長期借入金	6,485	2,681
役員退職慰労引当金	69	70
汚染負荷量引当金	491	485
退職給付に係る負債	5,866	5,846
その他	9,097	9,728
固定負債合計	29,825	26,628
負債合計	53,602	55,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	6,349	6,674
自己株式	△84	△84
株主資本合計	17,210	17,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,567	2,182
繰延ヘッジ損益	13	△9
土地再評価差額金	5,338	5,338
為替換算調整勘定	1	△1
退職給付に係る調整累計額	△479	△465
その他の包括利益累計額合計	7,441	7,043
非支配株主持分	2,945	2,980
純資産合計	27,597	27,558
負債純資産合計	81,199	82,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年6月20日)
売上高	18,989	19,609
売上原価	15,116	15,737
売上総利益	3,873	3,871
販売費及び一般管理費	3,012	3,074
営業利益	860	797
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	122	33
受取賃貸料	39	52
固定資産売却益	—	48
その他	25	18
営業外収益合計	188	154
営業外費用		
支払利息	97	87
為替差損	68	—
解約損	67	—
その他	70	70
営業外費用合計	304	157
経常利益	744	794
特別利益		
関係会社整理益	64	—
受取保険金	—	136
特別利益合計	64	136
特別損失		
早期割増退職金	—	23
特別損失合計	—	23
税金等調整前四半期純利益	808	906
法人税、住民税及び事業税	143	167
法人税等調整額	48	89
法人税等合計	191	257
四半期純利益	617	648
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	571	600

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)
四半期純利益	617	648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	△370
繰延ヘッジ損益	213	△23
為替換算調整勘定	3	△3
退職給付に係る調整額	31	13
その他の包括利益合計	362	△384
四半期包括利益	980	264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	927	202
非支配株主に係る四半期包括利益	52	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 器 材 材 材 計	業 材 材 材 計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,258	4,091	1,881	7,259	407	17,898	1,091	18,989	—	18,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	—	152	—	157	1,486	1,644	△1,644	—
計	4,258	4,097	1,881	7,411	407	18,056	2,577	20,634	△1,644	18,989
セグメント利益	15	171	47	532	24	790	69	859	0	860

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円には、たな卸資産の調整額0百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 器 材 材 材 計	業 材 材 材 計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,143	3,814	1,904	8,422	378	18,662	946	19,609	—	19,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	—	154	—	160	1,615	1,776	△1,776	—
計	4,143	3,820	1,904	8,577	378	18,823	2,562	21,385	△1,776	19,609
セグメント利益又は 損失(△)	△92	118	78	665	13	783	12	795	1	797

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円には、たな卸資産の調整額1百万円、その他△0百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。